

策定スケジュール

01 R5.5月～9月 02 10月～ 03 R6.10月～ 04 ～R7.2月

02

地域の話し合い活動

意向調査の結果をもとに、令和5年10月頃から市内各地域で話し合い活動を行い、将来の農地利用の方針をまとめていきます。

04

地域計画の策定

地域計画として策定・公表します。

01

意向調査 (アンケート)

03

目標地図の作成

話し合い活動でまとめた方針を示す目標地図を作成します。

計画の実施・更新

計画に基づき農地利用を行い、変更に応じて計画の更新を行います。

皆さんの農地を、将来にわたって守り続けていくため
農業者や地域の皆さんと一緒に

「地域計画」を策定します

高齢化や人口減少の本格化により、農業者の減少や荒廃農地の拡大が進み、地域の農業が衰退することが懸念されています。地域の農業者や農地をお持ちの皆さんがこれまで守り続けてきた農地を将来にしっかり引き継ぐために、農地集約や農地利用の姿を明確化する「地域計画」を皆さんとの話し合い活動に基づき策定します。

市農政課 ☎0994-31-1183

まずは意向調査(2種類)に回答し、提出してください！

農地の所有者等へ「農業経営意向」と「農地の意向」についての意向調査票(アンケート)を送付します。

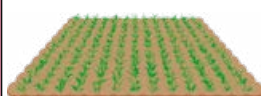
農業経営意向

今後農業を営む場合の規模の拡大・縮小に関する調査票



農地の意向

所有する農地ごとの今後の利用の仕方に関する調査票



6月上旬からお手元に届きます。目標地図作成に必要な調査票ですので、回答へのご協力をお願いします！



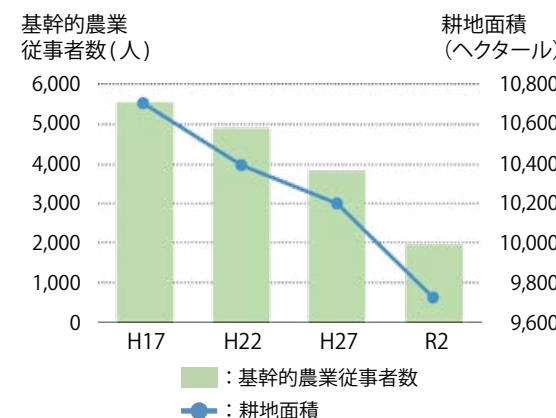
ここがポイント！

アンケート結果をもとに、今年の秋頃から地域の話し合い活動を行います。話し合い活動は、農地所有者や耕作者だけでなく、地域の代表者や就農を目指す人、関係機関・団体等に幅広く声掛けする予定です。※話し合い活動の日程については、決まり次第市ホームページ等でお知らせします。

鹿屋市の農業の現状

本市では、主に自営農業に従事している「基幹的農業従事者数」が直近15年間で約65%減少するとともに、農地として利用されている「耕地面積」が約1,000ヘクタール減少しました。農業の後継者不足はますます深刻化していることから、このまま減少が続くと荒廃農地が拡大し、地域の農地が適切に利用されなくなることが懸念されます。

鹿屋市の農家人口と耕地面積の推移



地域計画とは、農業者の減少が見込まれるなか、地域ごとに話し合いを行い、耕作を行う中心的な農業者等が利用しやすいように農地をまとめることや、将来、「誰が」「どのように」農地を利用するかを農地ごとに明確化した「目標地図」を示す計画のことです。計画の策定により農業を維持・発展させ、食料の安定供給や農業の持つ様々な機能を発揮させることを目指します。

中心的な農業者等に農地を預け(集積)、農作業がしやすいように農地をまとめる(集約)ためには、所有者や耕作者だけでなく、幅広い人々の意見を取り入れて地域計画を策定しなければなりません。

農地をお持ちの皆さんには意向調査(アンケート)の回答と、その後の話し合い活動への参加について、ご理解とご協力をお願いします。

地域計画とは...